

第1日 第1会場-3

多変量解析を用いた国語学力要因分析

宮崎大学教育文化学部 早野慎吾

§ 調査概要

本発表は実地調査に基づく分析である。実地調査は1992年7月に、栃木県益子町にある田野中学の3年生全員(男子44名・女子28名、合計72名)に対して行った。この調査では、パーソナリティ項目(特に志向性)、言語項目(敬語、方言、流行語など)、生活習慣項目(一日の学習時間や視聴時間など)の3項目についての使用状況をアンケート方式で確認した。これらの項目と前年度末に行われた新教育判定試験の結果(以降学力)との相関関係を分析する。また、今回は宮崎県須木中学校の協力により、いくつかの貴重な資料を得ることができたので、補助的に須木中学のデータを利用する。

§ 調査項目

敬語知識に関しては国立国語研究所(1957.1983)の敬語知識調査に従った。調査文は以下のとおりで、敬語の部分を指摘してもらった。下線部(または二重傍線部)が敬語の部分である。

- 1) あの人は駅に行かれた。
- 2) ~一つお持ち下さい。
- 3) 今日はお野菜がやすい。
- 4) ここにあります。
- 5) これははいだいたものだ。
- 6) 知事のお車はもう駅を出発した。

敬語使用に関しては10項目設定して質問しているが、今回は場面による使い分けを確認するために、次の2項目を用いる。

場面 A) 中学校の担任の先生に「校長先生は、いま学校にいるか」をたずねる。

場面 B) 校長先生に「同級生の佐藤君は、いま学校にいるか」をたずねる。

方言項目は次の7項目で、おもに文法項目である。これらの項目について「使う」「使わないが聞く」「聞いたこともない」を確認した。

- 1) 意志、推量のべ(一)・ペ(一)
- 2) 婉曲の終助詞ケ
- 3) 俗語化の接尾辞メ
- 4) 俗語化の接尾辞コ
- 5) ~ゲレ(ナケレバ(助動詞ナイの活用形+バ)の変化形。
- 6) ~クレ・ケレ(~ならば)
- 7) 使役の助動詞~ラセル(~サセル)

流行語項目は次の24項目で、『現代用語の基礎知識』(1992)の流行語項目から無作為抽出法により選定した。これらの項目について「使う」「使わないが聞く」「聞いたこともない」を確認した。

江畑頭・レインボー族・ハト型暴力・BGM
マンション・族狩り・ヤンコ・テレビじや
見れない川崎球場・~でぴょーん・シカッ
ティング・バイビオ・ズッシー君・ブッヂ
する・バラドル・とりあたま・チーマー・
サラリーマンコミック・やおい・パンツル
ック・カマーバンド・ニューデニム・渋カ
ジ・パターンナー・カラーコンサルタント
・エステティク

§ 教科間の関係

§ 学習時間・視聴時間との関係

§ 音声言語との関係

§ パーソナリティとの関係

§ おわりに

§ 相関関係と分析

表1 基礎統計量・相関

(n=74)	平均値	標準偏差	分散	最高点	最低点	レジ
国語	47.86	18.64	347.32	88	12	76
社会	53.95	20.45	418.08	94	8	86
数学	45.03	23.32	544.03	92	4	88
理科	57.19	24.74	612.27	98	6	92
英語	54.92	26.31	692.19	94	6	88

表2 相関行列

(n=74)	国語	社会	数学	英語	理科	総合
国語	1.00					
社会	.675	1.00				
数学	.712	.664	1.00			
英語	.791	.687	.772	1.00		
理科	.796	.767	.734	.738	1.00	
総合	.885	.845	.874	.896	.906	1.00

表3 各教科間の相関(重回帰分析)

(n=74)	国語	社会	数学	英語	理科
国語(偏相関係数)	—	—	.467**	.470**	
社会(偏相関係数)	—	—	.203*	.436**	
数学(偏相関係数)	—	—	.417**	.263*	
英語(偏相関係数)	.499**	.279*	.504**	—	
理科(偏相関係数)	.514**	.531**	.383**	—	
重相関係数	.852**	.788**	.810**	.852**	.866**
寄与率	.725	.620	.657	.727	.749

変数増減法(stepwise method)利用

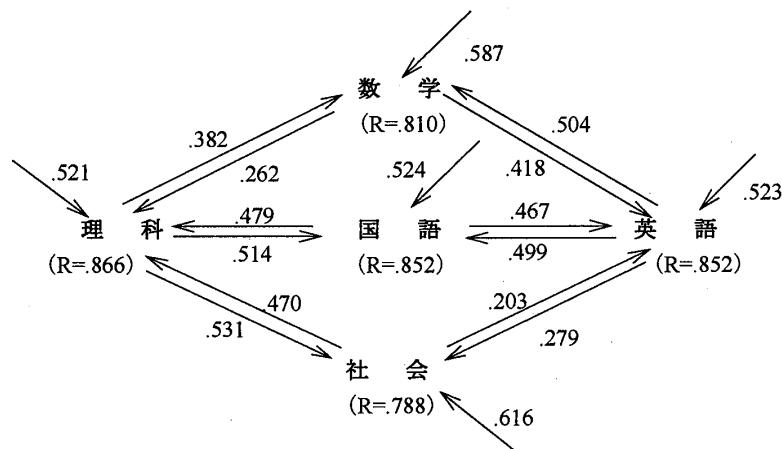
*は $p < .05$ 、**は $p < .01$ で統計的に有意

図1 教科間の関係(田野中学)

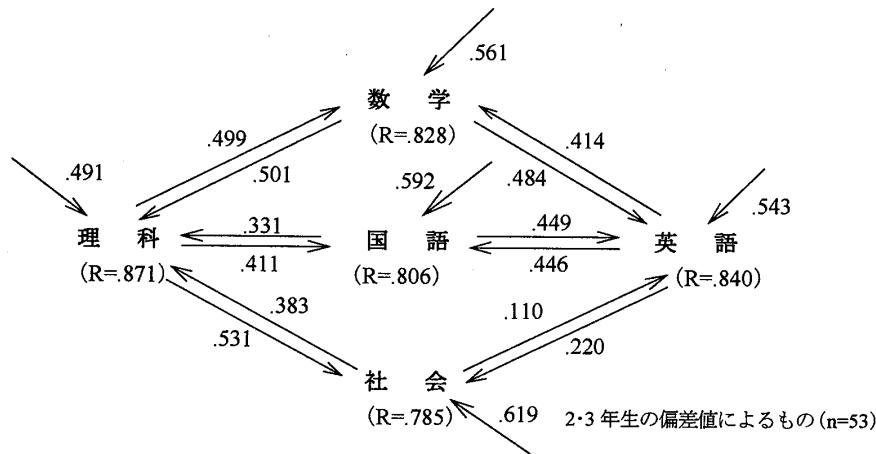


図2 教科間の関係(宮崎県須木中学)

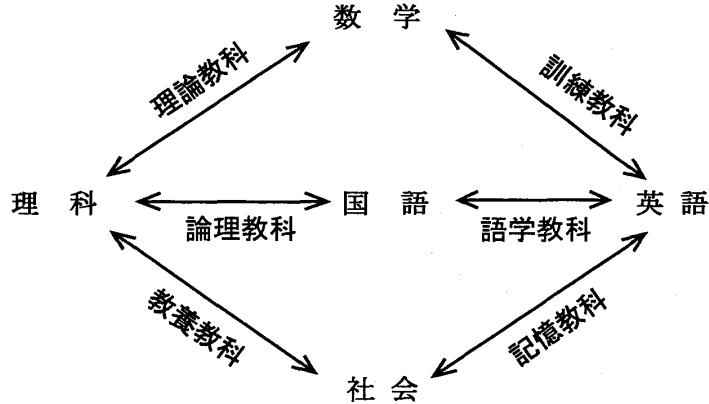


図3 教科特性の関係(田野中モデル)

表4 各教科と学習時間・視聴時間の相関(重回帰分析)

(n=72)	国語	社会	数学	理科	英語	総合
学習時間(偏相関係数)	.410**	.447**	.375**	.338**	.448**	.450**
視聴時間(偏相関係数)	-.335**	-.308*	-.229*	-.257*	-.241*	-.314*
重相関係数	.554**	.564**	.375**	.457**	.535**	.569**
寄与率	.304	.318	.222	.209	.286	.323

*は p<.05、**は p<.01 で統計的に有意

表5 学習時間と各教科の相関(重回帰分析)

(n=74)	学習時間
国語(偏相関係数)	—
社会(偏相関係数)	.246*
数学(偏相関係数)	—
英語(偏相関係数)	.234*
理科(偏相関係数)	—
重相関係数	.536**
寄与率	.288

*は p<.05、**は p<.01 で統計的に有意

表6 各教科と言語項目(重回帰分析)

(n=72)	国語	社会	数学	英語	理科
敬語知識(偏相関係数)	.300*	.237*	.293**	.356**	.341**
敬語A(偏相関係数)	—	—	—	—	—
敬語B(偏相関係数)	—	—	.217	.198	—
使い分け(偏相関係数)	.435**	.275*	.274*	.347*	.331**
流行語(偏相関係数)	—	—	-.358**	—	—
地域語(偏相関係数)	.201	.217*	.253	—	.201
重相関係数	.578**	.481**	.605**	.520**	.539**
寄与率	.335	.231	.366	.270	.291

*は p<.05、**は p<.01 で統計的に有意

表7 国語の学力とパーソナリティ(重回帰分析)

(n=55)	国語
規範志向(偏相関係数)	.185
中央志向(偏相関係数)	.433**
流行志向(偏相関係数)	-.132
地元志向(偏相関係数)	.120
重相関係数	.549**
寄与率	.303

*は p<.05、**は p<.01 で統計的に有意 (早野 1996) より

〔参考文献〕

- 井上史雄(1994)『方言学の新地平』明治書院
国立国語研究所(1957)『敬語と敬語意識』秀英出版
国立国語研究所(1983)『敬語と敬語意識－岡崎における20年前との比較－』秀英出版
田中豊・垂水共之(1995)『統計解析ハンドブック
多変量解析』共立出版
早野慎吾(1993)「個人の志向性と言語使用－敬語について－」『多々良鎮男先生傘寿記念論文集』
早野慎吾(1996)『首都圏の言語生態』おうふう
早野慎吾(1997)「茨城県玉造町の言語変化－伝統
方言と新規方言－」『Ars Linguistica』4
早野慎吾(2002)「東京語話者と茨城語話者のイメージ－水戸市の調査から－」『名古屋・方言研究会会報』19
深川章偏(1992)『現代用語の基礎知識 1992 年度
版』国民自由社
馬瀬良雄(1981)「言語形成期に及ぼすテレビおび
都市の言語の影響」『国語学』125
吉岡泰夫(1986)「高校生の敬語知識とその形成－
済々高・人吉高・九女高における敬語行動調査
から－」『計量 国語学』15-6